

フロントディスクブレーキキット 取扱説明書 (10 インチ / ダイカストハブ)

製品番号	06-08-0087 (フローティングディスクローター)
	06-08-0086 (スタンダードディスクローター)

適応車種	モンキー (Z50J-1300017 ~) (AB27-1000001 ~)
	ゴリラ (Z50J-2500001 ~) (AB27-1000001 ~)
	モンキー (FI) (AB27-1900001 ~)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

◎当製品を加工等された場合やこの取扱説明書に記載されている方法以外で取り付けられた場合は、保証の対象にはなりません。

◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。

◎分解、取り付け作業はホンダサービスマニュアルモンキー用を必ず参照し確実に行って下さい。

◎当製品は 10 インチホイール専用です。

◎当製品を取り付ける際には、10 インチアルミホイールチューブタイプのホイールが必要となります。

◎当製品にはヘッドライトステー、ウインカーステー、ステアリングハンドルは含まれていません。別途お買い求め下さい。

◎ヘッドライトステーは弊社アルミヘッドライトステーをご使用下さい。

◎ノーマルキャブ使用車はスロットルが使用出来ない為、取り付け出来ません。(別途、ホンダ純正部品をご用意して頂く必要があります。)

◎当製品付属のフロントブレーキマスターシリンダー ASSY. はオイル確認窓が無い仕様の為、ブレーキフルードの量はオイルカップ部の上限線で確認して下さい。

◎ 3.5J アルミホイールの装着は出来ません。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業を行う際は、平坦で足場のしっかりした所を選び車両を安定させた状態で行って下さい。
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に行って下さい。(ネジ部の破損及び脱落の原因となります。)
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して下さい。
- フォークトップボルトを取り外す際にフォークスプリングによりトップボルトが飛び出す危険性がありますので、十分注意して下さい。
- 製品及びフレームにはエッジや突起がある場合があります。作業時は手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因になります。)
- ブレーキフルードはなるべく皮膚に触れないようにし、作業後は十分手洗いを行って下さい。(手荒れの原因になります。)
- 又、衣服に付着すると、変質させる恐れがあるため、十分注意して下さい。
- ブレーキフルードは塗装面、樹脂部品、ゴム製品等に付着すると劣化及び損傷させるので作業は十分注意して行って下さい。付着した場合は速やかに水洗いをして下さい。(部品の損傷、劣化の原因となります。)

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 技術、知識などが無い方は作業を行わないで下さい。(部品破損などの原因により、転倒、事故につながる恐れがあります。)
- 走行前には、必ず各部の取り付け状態を点検し、緩み等が無いかを確認して下さい。又、走行中異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ異常個所の点検を行って下さい。(そのまま走行すると事故につながる恐れがあります。)
- 走行前には必ず各部を点検し、ボルト、ナットの緩みやオイル漏れが無いかを確認して下さい。又、走行中に異常が発生したと思われる場合は直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常個所の点検を行って下さい。異常が認められた場合は、絶対にそのまま走行しないで下さい。
- ブレーキフルードは指定のブレーキ液を使用して下さい。銘柄の異なるブレーキ液を混用しないで下さい。(トラブルの原因、化学変化の恐れがあります。)
- ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させないで下さい。付着した場合は、ブレーキパッドは交換しブレーキディスクローターは脱脂して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ブレーキの取り付け作業については熟練したメカニックに依頼し、専用の設備、工具のある工場などで行って下さい。(事故につながる恐れがあります。)

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後 1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。

但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。



番号	部 品 名	個数	リペア品番
1	フロントホイールハブ COMP.	1	44604-181-T00-C
2A	ディスクローター (スタンダード)	1	45230-181-T50
2B	ディスクローター (フローティング)	1	45220-AB7-T00
3	ディスクボルト 8x20	3	90105-165-T00
4	フロントホイールハブカラー 7.5mm	1	44310-181-T00
5	ホイールスペーサー 1mm	1	44600-181-T00
6	フロントブレーキマスターシリンダ ASSY.	1	06-08-1169
7	ウインカーサブコード	1	09-03-0007 (2ケ入り)
8	フロントブレーキキャリパー ASSY.	1	06-08-115
9	フロントキャリパーブラケット	1	45210-181-T00
10	ブレーキホース 775mm	1	06-080-0007
11	バンジョーボルト 10x1.25	2	00-07-0097 (シーリングワッシャ付)
12	シーリングワッシャ 10mm	4	00-07-0010 (10ケ入り)
13	ソケットキャップスクリュー 8x12	2	00-00-0736 (5ケ入り)
14	フランジソケットキャップスクリュー 8x20	4	00-00-0829 (5ケ入り)
15	ブレーキフルード DOT-4 (220cc)	1	06-08-0019
16	6角棒レンチ 5mm	1	_____
17	6角棒レンチ 6mm	1	_____
18	結束バンド 200mm	2	00-00-0179 (10ケ入り)
19	バンジョー (ストレート)	1	00-07-0006
20	バンジョー (25°)	1	00-07-0037

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。

品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませ様
お願い致します。

※部品番号 2A は 06-08-0086、2B は 06-08-0087 用です。

～別途必要部品について～

部品名	仕様	対応パーツ
スロットルハウジング	ノーマルキャブレター	下記ホンダ純正部品 53168-166-000 (スロットルハウジング) 1個 53167-GE4-000 (スロットルハウジング) 1個 93500-05022-0G (パンスクリュー 5x22) 2個 Z50J-1300017 ~ 1510400 の車両は 17910-165-640 (スロットルケーブル COMP.) 1個
	ビックボアキャブレター	弊社製各種
コンビネーションスイッチ (Z50J-1300017 ~ 1510400 の 車両の場合)	遠心クラッチ車両	02-01-015 (コンビネーションスイッチ)
	マニュアルクラッチ車両	02-01-016 (クラッチレバー & コンビネーションスイッチ)
ヘッドライト & ウインカーステー	ノーマルヘッドライトケース及び弊社製 取り付け幅 155mm のヘッドライトケース	09-03-007
	弊社製 128-D マルチリフレクターヘッドライト	09-03-0014
スイングアーム	(ノーマル不可) 変更必要	弊社製 12cm/16cm ロングスイングアーム各種
リアショック	(ノーマル不可) 変更必要	弊社製スイングアームに伴う
サイドスタンド	ノーマルステップ	09-12-06 (Z50J-1110254 ~ 2005463)
		09-12-072 (Z50J-2100001 ~ / AB27-1000001 ~)
フロントフォーク	φ 27 フロントフォーク	00-06-0020
トップブリッジ & ステム	トップブリッジ & ステムセット	弊社製 φ 27 正立フォーク用トップブリッジ & ステムキット各種
ホイール	(ノーマル不可) 10 インチアルミホイール	弊社 10 インチアルミホイール各種

○詳しくは、弊社パーツカタログ又はホームページをご参照下さい。

<http://www.takegawa.co.jp>

～タイヤとシリンダーヘッドの干渉について～

当製品はタイヤサイズやシリンダーヘッドやボアアップの組み合わせにより干渉が発生する場合があります。

下表を参考に、同時装着可能な組み合わせをご確認下さい。

なお、下表はタイヤとシリンダーヘッドとの干渉を示した物です。フロントフェンダーの取り付け位置や形状、個体差により干渉する場合があります。取り付け位置調整をしても干渉する場合、干渉部分をカットして対応して頂く場合があります。ご了承下さい。

オフセット 40mm (フロントフォーク タイプ1)						
シリンダーヘッド	排気量	10 インチ				
		80/90-10	90/90-10	90/100-10	100/90-10	3.50-10
スーパーヘッド +R	88 ~ 106cc	○	○	○	○	○
	124 ~ 125cc	○	○	○	○	○
	138cc	○	○	○	○	○
	148 ~ 158cc	○	○	○	○	×
スーパーヘッド 4V+R	88 ~ 106cc	○	○	○	○	○
	124 ~ 125cc	○	○	○	○	○
	138 ~ 148	○	○	○	○	×
DOHC 4V	100 ~ 106cc	○	○	○	○	×
	124 ~ 125cc	○	○	×	×	×
	138cc	○	○	×	×	×
DESMO ツインカム 4V	100 ~ 106cc	○	×	×	×	×
	124 ~ 125cc	○	×	×	×	×
	138cc	×	×	×	×	×

オフセット 60mm (フロントフォーク タイプ1)						
シリンダーヘッド	排気量	10 インチ				
		80/90-10	90/90-10	90/100-10	100/90-10	3.50-10
スーパーヘッド +R	88 ~ 106cc	○	○	○	○	○
	124 ~ 125cc	○	○	○	○	○
	138cc	○	○	○	○	○
	148 ~ 158cc	○	○	○	○	○
スーパーヘッド 4V+R	88 ~ 106cc	○	○	○	○	○
	124 ~ 125cc	○	○	○	○	○
	138 ~ 148cc	○	○	○	○	○
DOHC 4V	100 ~ 106cc	○	○	○	○	○
	124 ~ 125cc	○	○	○	○	○
	138cc	○	○	○	○	○
DESMO ツインカム 4V	100 ~ 106cc	○	○	○	○	○
	124 ~ 125cc	○	○	○	○	○
	138cc	○	○	○	○	○

分解

1. フロントアップスタンド及びメンテナンススタンド等でフロントタイヤを浮かせます。

▲警告：水平な場所で車両を安定させる事。



2. フロントブレーキワイヤー、スピードメーターケーブルを取り外します。
3. フロントアクスルナットを外し、アクスルシャフトを取り外します。



4. STDのフロントホイールハブからフロントホイールを取り外します。

組み付け

1. マスターシリンダーASSY. ウィンカースイッチ（又はコンビネーションスイッチ）、左グリップをハンドルに取付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
フランジボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



2. フロントホイールのハブとホイールを固定しているナットを取り外し、ホイールとハブを分離します。
3. フロントホイールハブにディスクローターを取り付け、ディスクボルトにネジロック剤を塗布してボルトを規定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ディスクボルト
トルク：25N・m (2.5kgf・m)



4. 10インチアルミホイールに、フロントホイールハブをフランジキャップスクリューで仮締めします。
※ノーマルオフセットホイール (06-09-033/054) を使用の場合、フロントホイールハブとアルミホイールの間に付属のスペーサーを入れて下さい。
エアバルブの向きは、乗車時方向で左にくるようにして下さい。



5. キャリパーをディスクローターにセットします。



6. キャリパーをソケットキャップスクリュー (8x12) でキャリパーブラケットに取り付け、締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー
トルク：25N・m (2.5kgf・m)

※ボルトのねじ部分にネジロック剤を塗布して下さい。



7. キャリパーブラケットの凹みをフロントフォークの凸部に合わせ、付属のアクスルシャフトを進行方向に向かって右側からフロントフォーク、キャリパーブラケット、フロントホイールASSY.、メーターギア、カラー、フロントフォークの順になるように右側から通し仮締めします。



8. ホイールとハブを固定するフランジソケットキャップスクリューを締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
フランジソケットキャップ
スクリュー
トルク：25N・m (2.5kgf・m)



9. フロントホイールハブにフロントホイールハブカラーとスピードメーターギアボックスをセットし、フロントフォークに取り付けアクスルナットを規定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
アクスルナット
トルク：59N・m (6.0kgf・m)

※フロントホイールハブカラーは、径の小さい方をハブ側に向けて取り付けて下さい。
※アクスルナット締め付け前にスピードメーターギアボックスの位置調整を行って下さい。



10. バンジョーボルトにシーリングワッシャ、バンジョー（ストレート）、シーリングワッシャの順で通し、マスターシリンダーに取り付けて仮締めします。



11. フロントキャリパー側はバンジョー（25°）をマスターシリンダーと同様の方法で取り付けます。



12. ブレーキホースを各バンジョーに取り付けます。
バンジョーの取り付け角度、ブレーキホースの取り回しが決まれば、バンジョーボルト、ブレーキホースのフィッティングを規定トルクで締め付けます。
※ブレーキホースの取り回しは、ハンドル操作時やフロントフォーク作動時に無理のからさない状態になるように注意して行って下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
バンジョーボルト
トルク：15N・m (1.5kgf・m)
フィッティング
トルク：6N・m (0.6kgf・m)

13. ブレーキホースが他の部分と干渉しないように結束バンドで固定し、余った部分はニッパ等で切り取ります。
※バウンド、リバウンド時にホースが突っ張らないように固定して下さい。

14. ストップスイッチサブハーネス、ウィンカースイッチ（コンビネーションスイッチ）の配線を接続します。

※Monkey (F1) の場合
ストップスイッチサブハーネスとサブコードを接続し、配線を接続します。

15. リアメンテナンススタンドと台から車両を下ろします。
16. ブレーキのエア抜きを行います。
※ブレーキのエア抜き要領は、別紙を参照して下さい。

ブレーキのエア抜き要領

⚠ 注意

- ブレーキフルード補充時にゴミや水を混入させない事。
- 銘柄の異なるブレーキフルードを混用しない事。
- ブレーキフルードは付属のものを使用する事。DOT4 (BF-4)
- 抜き取ったブレーキフルードは再使用しない事。
- ブレーキフルードは塗装、プラスチック、ゴム面を傷めるので部品類に付着させない事。
(付着した場合は、速やかにブレーキフルードを洗い流す事。)
- ブレーキホースの取り外しの際など油圧系統に空気が混入した場合は、油圧系統のエア抜きをする事。
- シーリングワッシャは再使用しない事。
- 規定トルクは必ず守る事。

⚠ 警告

- ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させない事。
万一、付着した場合はパッドを交換し、ディスクローターは脱脂する事。
- 損傷部品が見つければその部品は必ず新品と交換する事。

- ・フロントブレーキマスターシリンダー ASSY. の2本のスクリューを取り外し、マスターシリンダーキャップ、ダイヤフラムを取り外す。



- ・ブレーキキャリパー ASSY. のブリーダーバルブに透明なブリーダーホースを接続し、ホースの反対側に適当なカップなどで受ける様にする。



- ・フロントブレーキマスターシリンダー ASSY. のカップ内にブレーキフルードを上限線まで補充する。



- ⚠ 注意：ゴミや水を混入させない事。
- ⚠ 注意：銘柄の異なるブレーキフルードを混用しない事。

- ・ブリーダーバルブを1/2回転緩め、ブレーキレバーを握る、放すを繰り返し、ブリーダーバルブからブレーキフルードが充分出てくるまでこの作業を繰り返す。

- ※オイルカップのブレーキフルード量に注意し新しいブレーキフルードを補充しながら作業を行う。



ブレーキレバー

- ・ブレーキレバーを握ったままブレーキキャリパー ASSY. のブリーダーバルブを1/2回転緩めた後、再び締め付ける (①)。
※ブリーダーバルブを緩めた状態でブレーキレバーを戻さない事。
- ・ブレーキレバーをゆっくりと戻し、完全に戻ったらそのまま数秒間放置する (②)。



ブレーキレバー



- ・①、②の操作をブリーダーバルブから気泡が出なくなるまで繰り返す。
※カップ内のブレーキフルードの量を確認しながら作業を行い、下限線付近まで減少していれば補充する。

- ・ブリーダーバルブから出てくるブレーキフルードにエアの混入が無くなればブリーダーバルブを規定トルクで締め付ける。



- ⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ブリーダーバルブ
トルク：5.9N・m (0.6kgf・m)

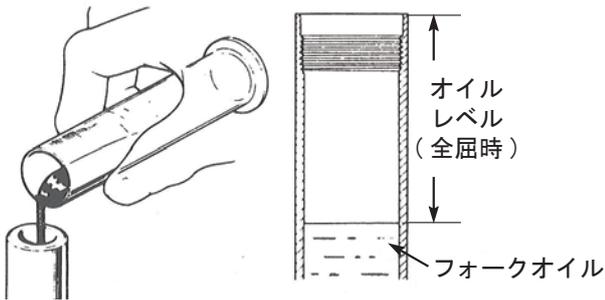
- ・オイルカップの上限線までブレーキフルードを補充し、ダイヤフラム、マスターシリンダーキャップをスクリュー2本を用いて取り付ける。



- ⚠ 注意：ゴミや水を混入させない事。

フロントフォークオイルの交換要領

- ・フォークインナーチューブをトップブリッジまたは、ステアリングステムに規定トルクにてクランプした状態にてフォークトップボルトを緩める。
- ・フォークを車両から取り外し、フォークトップボルトとフォークスプリングを取り外す。
(フォークスプリングの力でフォークトップボルトが飛び出してくるので注意。)
- ・オイルパン等を用意し、フォークを逆さまにしてフォークオイルを排出する。インナーチューブを伸縮しながらフォークオイルを更に抜き取る。
- ・インナーチューブをしばらく下側に向けたまま放置し、フォークオイルを出来るだけ排出させる。
- ・フォークを垂直に立て、フォークオイルを注入する。
フォークオイル : 10 番又は 15 番
フォークオイル量 : 75cc
- ・インナーチューブを数回静かに伸縮させ、内部のエアを抜く。インナーチューブを一杯まで縮め、フォークオイルの油面が安定してから油面の高さを確認する。
フォークオイルレベル : 75mm



- ・フォークスプリングに付着したフォークオイルを拭き取る。フォークスプリングをピッチが狭い方を下側（ボトムケース側）にしてフォークに入れ、フォークトップボルトを仮締めする。



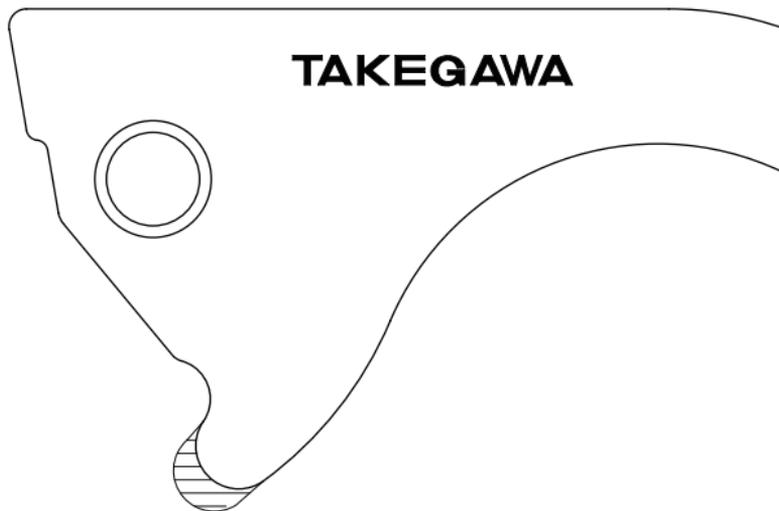
- ・フォークインナーチューブをトップブリッジまたは、ステアリングステムにクランプし、フォークトップボルトを規定トルクにて締め付ける。

⚠ 注意 : 必ず規定トルクを守る事。

フォークトップボルト
トルク : 20 ~ 24N · m (2.0 ~ 2.5kgf · m)

マスターシリンダーのご使用について

レバー交換等で一度マスターシリンダーよりレバーを外した際は、レバー取り付け後にピストンとレバーの遊びが変わる場合があります。その場合、レバーの斜線部分をヤスリ等で削って調整して下さい。



SPECIAL PARTS
TAKEGAWA